

着衣のまま尿量確認 おむつ用検知器を開発

コスモス

老人ホームなどを展開する「スマスモス」（前橋市川曲町、小和田幾野社長）は、衣服の上からおむつのぬれ状態を検知できる装置「オムツLOOPER（ルーパー）」を開発した。排せつの有無だけでなく尿量も計測でき、おむつ替えの適切なタイミングを確認できる。開発を担当した渡辺隆宏さんは「要介護者と介助者双方の負担軽減につながる」としている。

装置は総12センチ²、厚み2センチほどの大きさで、4段階に光るランプが付いている。着衣の上からおむつ部 分に装置を当てるとい

部
ぬれ状態に応じてラン
プが段階的に光る。水
分量によって変化する

ズボンの上から装置を当てるときも、内部のぬれ状態が分かる「オムツルーパー」

業務の流れが乱された
り、いつ鳴るか分から
ないという不安感が大
きいなど、かえって介

い。負担を減らす一助になればうれしい」と話している。

— 27 —

は双方にとつて精神的にも身体的にも負担となつてゐた。特に夜間は睡眠を妨げてしまうため、認知症などの高齢者にとつては夜間徘徊を誘発する恐れもあつた。

オムツルーパーは、本来の業務の流れを崩さずに活用できる装置を目指し、地元のTsuchiyasシステム

で販売して
いる。問い合わせは同
社(8027・251
1115)か専用サ
イト=QRコード=

「一船の音」大賞
したほか、関東経済産業局長賞も受賞した。



「オムツルーパーを世界に発信したい」と意気込む渡辺さん

A close-up photograph showing a person's hand holding a white, rectangular handheld device with a small screen and several buttons. The device is being used to clean a grey, textured surface, possibly a sofa or a chair. The background is a plain, light-colored wall.